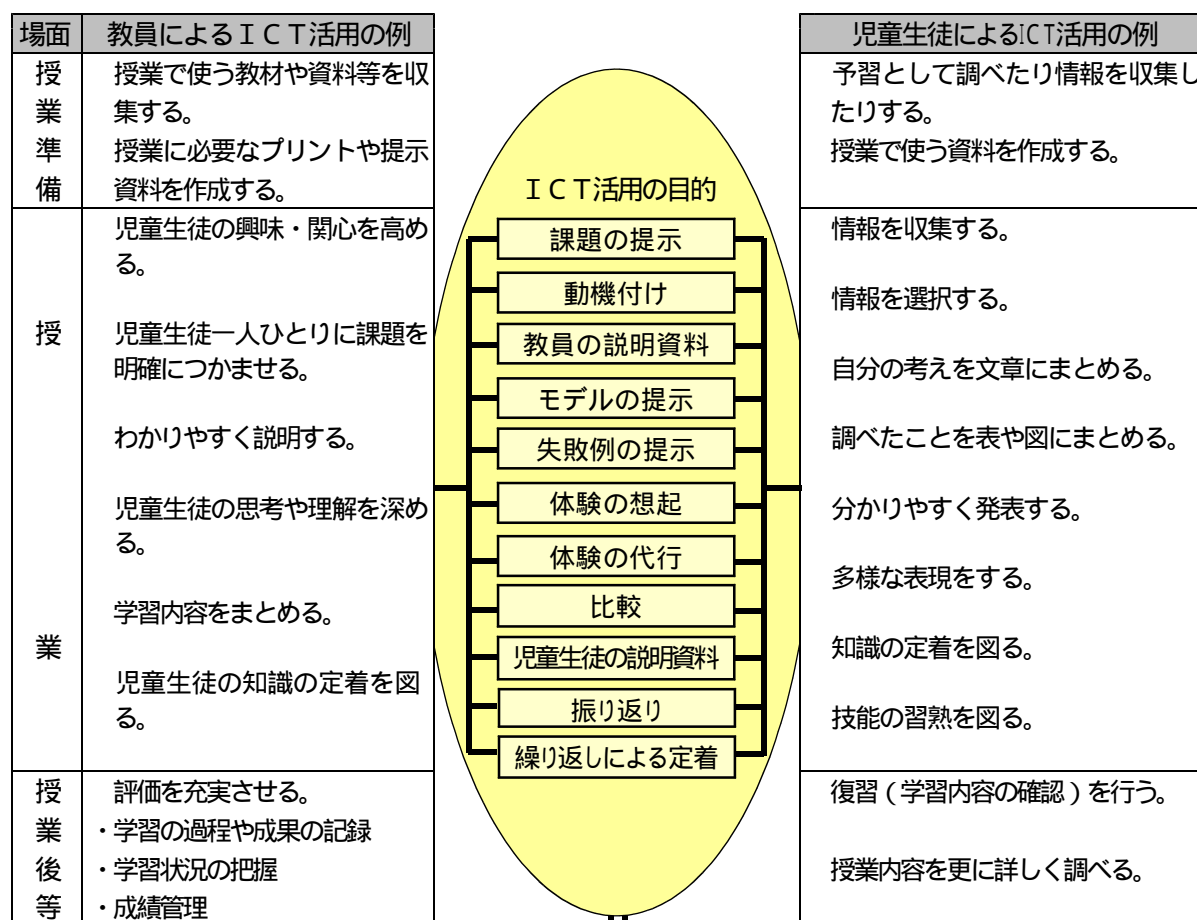


## 授業におけるICTの活用

ICTは授業のあらゆる場面で使うことができますが、授業の目標を達成するためには、必要な場面で効果的に活用することが大切です。1年間、1単位時間のすべてをICTを利用して授業を行う必要はありません。利用するねらいを明確にして、授業の一部で、効果的に活用していくことが基本です。

障害のある児童生徒については、各教科等の指導でのICT活用に配慮や工夫を行うことで、指導の効果を高めることができます。



## &lt; ICT機器等 &gt;

- ・ プロジェクタ
- ・ 実物投影機（OHC）
- ・ DVDプレイヤー
- ・ コンピュータ
- ・ テープレコーダー
- ・ Webカメラ
- ・ ソフトウェア（ワープロ、表計算、プレゼンテーション、教育用ソフトウェア等）
- ・ CD-ROM及びDVD等による教育用コンテンツ
- ・ 大型ディスプレイ
- ・ OHP
- ・ インターネット
- ・ ビデオカメラ
- ・ ICレコーダー
- ・ 教科書準拠デジタルコンテンツ
- ・ 電子黒板
- ・ ビデオデッキ
- ・ デジタルテレビ放送
- ・ デジタルカメラ
- ・ PDA

- 
- ・ 各種スイッチ・入力装置
  - ・ 音声読み上げソフトウェア
  - ・ VOCA
  - ・ ピンディスプレイ 等
- ゴシック体の機器は主に障害のある児童生徒の支援に利用する。